大阪府鉄道駅における色彩イメージの傾向と分布

野坂 太陽*・田中 一成**

Analysis of the Effects of Environmental Factors on Pedestrian Bridges

Taiyo NOSAKA *, Kazunari TANAKA**

Abstract: In this study, we focused on the color image of station town spaces as well as regional characteristics. The purpose of this study is to clarify the relationship between the characteristics of station-town spaces and the cognitive characteristics of color images.

In a previous study, image analysis was used to compare the colors and images in the station square space. The main research involved using a questionnaire survey to extract information about station images and trends. As a result, four trends in symbols and mascots were identified.

Using QGIS, we analyzed the distribution of color images at major railway stations in Osaka Prefecture. The results revealed that the color images of major stations in Osaka Prefecture can be roughly divided into red and blue systems.

Keywords: 駅前広場（Station Square），色彩イメージ（Image of Color），シンボル（Symbol），マスコットキャラクター（Mascot Character），地名（Place name），

１．はじめに

１．１　研究背景

日本では，明治時代から鉄道の発展にともない，東京駅に広場が設けられるなど駅前広場は交通の結節点として整備されてきた．大正時代には関東大震災後の復興計画で上野駅前広場などが都市計画の一環として重要視されるようになった．第二次世界大戦には，戦災からの復興の一環として新宿駅や渋谷駅などの主要な駅で広場が整備され，交通の円滑化と都市の再建が図られた．そして，現在では駅前広場は交通の結節点だけでなく，地域のコミュニティスペースとしても機能している．駅前広場は時代とともにその役割が変化し続けており，国土交通省によると利便性・快適性・安全性・地域性といったこれらの要素がバランスよく取り入れられた魅力的で使いやすい場所であることが駅と駅まち空間に求められている．色彩はその地域性や駅の個性を視覚的に表現する手段である．そこで，駅前広場などのオープンスペースにおいての色彩イメージについて着目した．駅のイメージという観点から景観の印象評価を行うことで，地域性に優れつつ象徴的なオープンスペースを作ることができるのではないのだろうか．

１．２　目的と方法

本研究では，駅前広場に対する景観の印象評価をおこなう．そのためには，地域性とともに駅と駅周辺の色彩イメージについて着目することが重要であると考えた．

具体的には駅の色彩イメージ形成の傾向とその分布について明らかにすることを目的とする．

本研究では，全２回のアンケート調査による色彩イメージの抽出をおこなった．その後，QGIS を用いて大阪府の主要な駅における色彩イメージの分布についての分析をおこなった．

２．予備調査

予備調査では，それぞれの駅に対する色の物理特性と色彩イメージとの比較を目的とする．この調査では，JR 琵琶湖線の近江八幡駅・彦根駅・草津駅の計３駅を色彩イメージの調査対象とした．

２．１　画像分析

この調査では対象とした駅前広場の画像を用意し，Adobe Photoshop で天候部分を切り取った（図１）．そして，Python の extcolors を用いて画像内の色割合を算出す

*　学生会員　大阪工業大学大学院（Graduate School of Engineering, Osaka Institute of Technology）
〒535-8585　大阪府大阪市旭区大宮 5-16-1　Tel：06-6954-4109 または E-mail：m1m02510115@oit.ac.jp
**　正会員　大阪工業大学（Osaka Institute of Technology）

ることで，それぞれの駅前広場の色彩といった物理的特性を抽出した（図２）．



図１　近江八幡駅東口

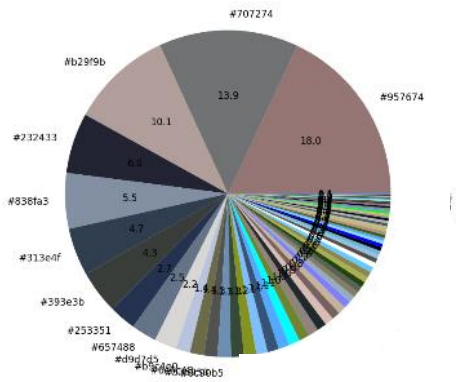


図２　近江八幡駅東口の分析結果

全体的な傾向として灰色の色彩，それに類似した色彩が多く抽出された．そして，近江八幡駅東口においては，駅前広場のペーブメントに用いられている赤茶色，薄い赤茶色が特徴的な色彩として抽出された．このことから，駅前広場における特徴的な色彩は人々の印象に残りやすく駅前広場の色彩イメージに大きな影響を与えているのではないのかと考えた．

２．２　アンケート調査

アンケート調査では，回答者に対してその駅に関する画像等を見せず，48 種類のカラーチャート（図３）から色彩を選択してもらい，駅の色彩イメージの抽出をおこなった．この調査は，計 44 人に Google form を用いて実施した．

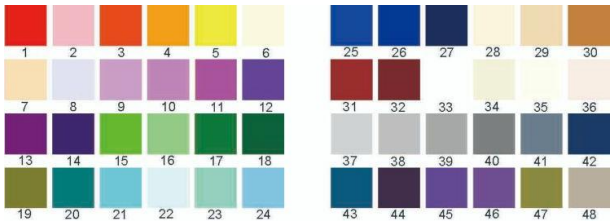


図３　アンケートで使用したカラーチャート(33 は白色)

２．２．１　近江八幡駅

近江八幡駅の色彩イメージには，赤茶色系統の色が多い傾向となった．近江八幡駅の結果では，色の物理特性として＃927674 などの赤茶色系統の色彩が特徴的な色彩として抽出された．このことから，近江八幡駅の色彩イメージと色の物理特性に類似がみられた．また，色彩イメージや予備調査で抽出された赤茶色系統の色彩は，実際の駅前広場においてペーブメントや駅前ロータリーの屋根に用いられている色彩であり，近江八幡駅のペーブメントや屋根の装飾が駅の色彩イメージに大きな影響を与えていると考えられる．

２．２．２　彦根駅

彦根駅の色彩イメージにはカラーチャートの１番の赤が最も多く，その次に白色系統や暖色系統の色が多い傾向となった．そして，駅まち空間で使用されている色の物理特性としては＃4c5f75 などの紺系統の似たような色彩が抽出された．彦根駅の駅前広場における色の物理特性と色彩イメージに類似がみられないことから駅前広場の構成要素以外に影響を受けたということが考えられる．そして，地域のマスコットキャラクター（ひこにゃん）に用いられている色彩とアンケートで抽出された色彩の種類が類似していることから，このマスコットキャラクターに大きな影響を受け，彦根駅の色彩イメージが形成されている可能性が考えられる．

２．２．３　草津駅

草津駅では，色彩イメージと画像分析の間において青系統の色彩については現場の色彩と類似しているものの，緑系統の色彩は抽出した色彩と異なる結果となった．駅まち空間の色彩の抽出や色彩イメージで抽出された青系統の色彩については草津駅の駅前広場は高層構造物に囲まれていて，商業施設に青系統の色彩を用いた広告や看板が多く掲載されていることや，高層構造物に設置された窓によって色彩イメージに青系統の印象を与えたと考えられる．そして，色彩イメージとして最も多く抽出されたカラーチャート 15 番の緑については，草津駅で連結している JR 草津線の路線の色彩と一致することから黄緑の影響を与えたと考えられる．また，JR 草津線の路線の色彩と色彩イメージが類似している点や草津という地名の「草」という文字が緑などを連想させることから，これらが色彩イメージに寄与した可能性についても考えられる．

２．３　予備調査の結果

予備調査の結果より，近江八幡駅では駅前広場の特徴，彦根駅では地域のマスコットキャラクターの影響や，草津駅では，連結している路線の色彩や地名に含まれる文字から連想されている色彩に影響を受け色彩イメージが形成されている可能性が明らかとなった．

3　本調査

3．1　目的と方法

さらに，色彩イメージ形成に関する傾向を捉えるため調査対象を拡大しアンケート調査をおこなった．予備調査と同様にアンケートの方式は，回答者に対してその駅に関する画像等を見せず，48 種類のカラーチャート（図１）から色彩を選択式によって，駅の色彩イメージの抽出をおこなった．調査対象には，大阪府の主要な駅に加え，日本各地の主要な駅，観光名所などが近い駅，駅名（地名）が特徴的な駅といった 39 駅とした．この調査は，計 24 人に Google form を用いて実施した．

表１　本調査で対象とした駅名リスト

1	2	3	4	5
梅田駅	桜ノ宮駅	鶴橋駅	宝塚駅	桜井駅
6	7	8	9	10
桃谷駅	姫路駅	播州赤穂駅	東淀川駅	出雲大社駅
11	12	13	14	15
金沢駅	東京駅	京都駅	名古屋駅	福井駅
16	17	18	19	20
甲子園口駅	ユニバーサルシティ駅	天王寺駅	JR難波駅	鎌倉駅
21	22	23	24	25
熊本駅	船橋駅	奈良駅	水戸駅	和歌山駅
26	27	28	29	30
札幌駅	伏見稲荷駅	天満駅	大阪城公園駅	大阪駅
31	32	33	34	35
京橋	新今宮	高槻	放出	鳳
36	37	38	39	
四条畷	西九条	久宝寺	新大阪	

3．2　本調査の結果

ここでは，色彩イメージ形成の傾向ごとに主な調査結果について説明する．

3．2．1　東京駅

東京駅の色彩イメージでは，カラーチャート 31 番の茶色や３番のオレンジ系統の色彩が抽出された（図４）．東京駅の特徴には，丸の内駅舎の赤レンガ造りの外観が挙げられ，アンケート調査で抽出された色彩と高い一致を示している（図５）．このことから東京駅の色彩イメージは東京駅丸の内駅舎といったシンボルに影響を受けている可能性が考えられる．

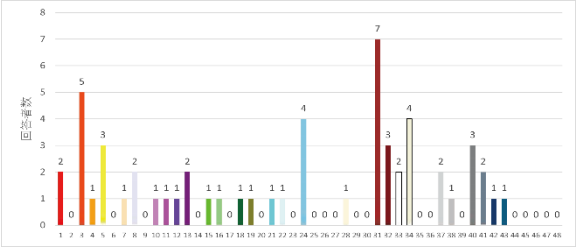


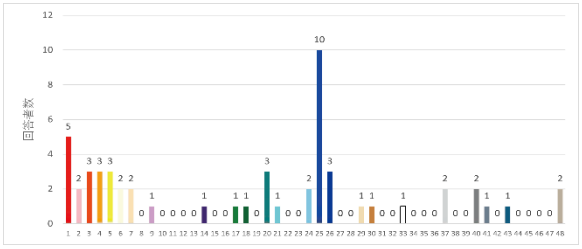
図４　東京駅の色彩イメージ



図５　東京駅丸の内駅舎

3．2．2　ユニバーサルシティ駅

ユニバーサルシティ駅では，色彩イメージとしてカラーチャート 25 番の青色が最も多く抽出された（図６）．ユニバーサルシティ駅は USJ の最寄り駅として知られており，USJ のブランドイメージには青色が使用されている（図７）．ユニバーサルシティ駅の色彩イメージと USJ のテーマカラーの色彩に整合性がみられることから，ユニバーサルシティ駅は USJ のテーマカラーといった最寄りの観光スポットの色彩に影響を受け，色彩イメージが形成されていると考えられる．



６図　ユニバーサルシティ駅の色彩イメージ



図７　ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

3．2．3　船橋駅

船橋駅では，色彩イメージとして５番の黄色が最も多く抽出された（図８）．この色彩は千葉県船橋市のマスコットキャラクター（ふなっしー）で用いられている色彩と一致している（図９）．このことから，船橋駅の色彩イメージは，このマスコットキャラクターに影響を受け色彩イメージが形成されていると考えられる．

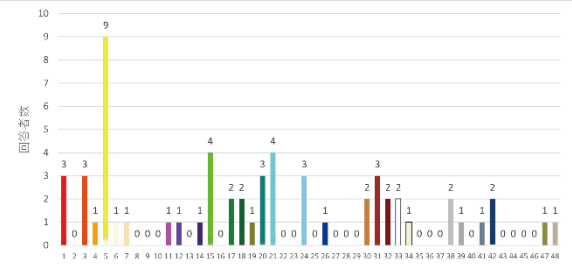


図８　船橋駅の色彩イメージ



図９　千葉県船橋市のマスコットキャラクター
（ふなっしー）

３．３　色彩イメージ形成のまとめ

本調査より，色彩イメージ形成の傾向として大きく 4 つの傾向が明らかになった．まず，1 つ目は東京駅や金沢駅などでみられた、駅前広場のシンボルに影響を受け色彩イメージが形成されるという傾向である．この傾向は，駅前広場が街の玄関口として機能しており，観光客や地元住民に大きな印象をあたえているからであると考えられる．２つ目は，ユニバーサルシティ駅や姫路駅などでみられた、駅近くの観光スポットで用いられている色彩に影響を受けている傾向である．この傾向は，観光スポットの最寄り駅としての役割に観光スポットの色彩イメージが駅の色彩イメージに連動しているからであると考えられる．3 つ目は，駅周辺のマスコットキャラクターに影響を受けている傾向である．これは船橋駅の「ふなっしー」に用いられている黄色や，熊本駅では「くまモン」に用いられている黒色と赤色が色彩イメージとして抽出された．ゆるキャラには地域の特徴や歴史が反映されており，地域の PR や観光促進に貢献している点や，ゆるキャラの「ゆるさ」や可愛らしさによって親しみやすいということから地域の印象に残りやすく，色彩イメージとして抽出されたと考えられる．最後に，4 つ目として，地名に連想される色に影響を受けている傾向である．これは，桜井駅や播州赤穂駅といった色彩が連想される単語や色の名称が入った駅にみられ，連想される色彩が駅の色彩イメージとして抽出された．この傾向は，駅の色彩イメージを抽出するにあたって，地名による色彩の印象が大きかったからであると考えられる．今回は４つの傾向が明らかとなったが，その他これらに属さない傾向があると考えられる．

表２　各駅の色彩イメージ形成の傾向

質問番号	アンケート対象駅	シンボル	観光スポット	マスコット	駅名（地名）
1	梅田駅				○
2	桜ノ宮駅				○
3	鶴橋駅		○		
4	宝塚駅		○		○
5	桜井駅				○
6	桃谷駅				○
7	姫路駅		○		
8	播州赤穂駅				○
9	東淀川駅				○
10	出雲大社駅		○		
11	金沢駅	○			
12	東京駅	○			
13	京都駅		○		
14	名古屋駅		○		
15	福井駅	○			
16	甲子園口駅		○		
17	ユニバーサルシティ駅		○		
18	天王寺駅				
19	JR難波駅				
20	鎌倉駅		○		
21	熊本駅			○	
22	船橋駅			○	
23	奈良駅		○	○	
24	水戸駅				○
25	和歌山駅		○		
26	札幌駅		○		
27	伏見稲荷駅		○		
28	天満駅				
29	大阪城公園駅				○
30	大阪駅	○			
31	京橋駅		○		
32	新今宮				
33	高槻				
34	放出				
35	鳳				○
36	四条畷				
37	西九条				
38	久宝寺				○
39	新大阪	○			

４．色彩イメージの分布〈大阪府〉

次に本調査の結果を用いて，大阪府における色彩イメージの分布について QGIS を用いて分析をおこなった．QGIS 上で各駅の中心地を基点として 48 種類のカラーチャートから同系色を集約した色彩によって各駅の色彩イメージを表現した．また，各色彩における傾向の強さを高さによって表現した．これらの地理的分布の結果より，大阪府の色彩イメージは，赤色系統の色彩と青色系統の色彩に大別できることが明らかとなった．また，中心部の駅では色彩イメージの傾向が大きく現れた．これは，地方部の駅に比べ利用者数・利用頻度が比較的多く，印象に残りやすかったからではないのかと考えられる．

５．まとめ

本研究より，色彩イメージ形成に関する４つの傾向と大阪府の主要な駅における色彩イメージの分布が明らかとなった．今後の展開としては，さらなる詳細についての分析や，色彩イメージ形成に関する要因について多角的な分析をおこなうことで，地域別の傾向や，駅周辺の土地利用との関連について追及していきたい．

参考文献

国土交通省（2021）駅まちが抱える課題と駅まち再構築により期待される効果.
< https://www.mlit.go.jp/toshi/content/001425843.pdf>
国土交通省（2021）駅まちデザインとは.
<https://www.mlit.go.jp/toshi/content/001431090.pdfl>